

災害ボランティアコーディネーター養成講座

災害時、被災地へ多くのボランティアが駆け付けます。善意により駆け付けた皆さんに気持ち良くボランティア活動をしてもらうには受け入れる側の準備も必要です。

万が一、私たちの地域が大きな災害に見舞われた場合、みんなが一丸となって復興に取り組むためにも、災害時のボランティア活動と災害ボランティアコーディネーターについて学びましょう。

と き ①10月27日(土) 午前10時～午後3時
②11月10日(土) 午前10時～午後3時

と ころ 安城市文化センター3階大会議室

募 集 高浜市・碧南市・安城市・知立市に在住・在勤・在学の方 80人

参加費 無料

申込方法 9月18日(火)～10月12日(金)の間に電話もしくは直接申込
(受付時間:午前8時30分～午後5時15分)

申込・問合せ先
高浜市社会福祉協議会ボランティアひろばセンター
“てととて” (春日町五丁目165番地いきいき広場3階)
☎52-9882

内 容	
①	午前 【講義】ボランティアとは ボランティア活動を行ううえでの心構えを被災地の現地のように学べる。 講師：特定非営利活動法人レスキューストックヤード 常務理事 浦野 愛氏
	午後 【演習】避難所運営ゲーム(HUG) 避難所の運営実態や災害時要援護者への対応方法などを学ぶ。
②	午前 【講義】災害ボランティアセンターの運営方法とコーディネーターの役割 災害ボランティアセンターの業務を理解し、運営の基本的な流れと方法を理解する。 講師：刈谷防災ボランティア代表 山下克昭氏
	午後 【演習】災害ボランティアセンターを立ち上げよう 災害を想定して、実際に災害ボランティアセンターを模擬的に設置する。 講師：刈谷防災ボランティア代表 山下克昭氏

認知症の勉強会 (認知症サポーター養成講座) を行います



◎認知症サポーターとは

認知症サポーター養成講座を受けた方を「認知症サポーター」と呼びます。

認知症サポーターは、特別なことを行うものではありません。認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になることが目的です。自分にできる範囲で小さな支援をすることで、認知症の方やその家族は、住み慣れた地域で暮らすことに大きな安心感を得ることができます。

と き 10月25(木) 午後1時30分～(1時間程度)

と ころ いきいき広場3階 会議・研修室B

講 師 キャラバン・メイト(キャラバン・メイト養成研修を修了した方)

募 集 市民、在勤の方 30人

内 容 認知症の症状、認知症の人との接し方、認知症介護をしている人の気持ちの理解

参加費 無料

申込・問合せ先 いきいき広場内地域包括支援センター ☎52-9610

○ 認知症サポーター養成講座の出前講座も行います。少人数からでもOKです。
○ 詳しくは地域包括支援センターへ問い合わせください。



◎認知症サポーター100万人キャラバン

平成16年12月、「痴呆」から「認知症」へと呼称が変更され、これを契機に厚生労働省および民間の団体が協力して、みんなで認知症の人とその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域を作っていく運動「認知症を知り地域をつくる100年」のキャンペーンが始まりました。このキャンペーンの一環である「認知症サポーター100万人キャラバン」は、地域で暮らす認知症の人や家族を日常の生活場面において、自分のできる範囲でサポートする「認知症サポーター」を育成していく全国的な取り組みです。高浜市でも平成17年度より認知症サポーター養成を行っており、平成24年6月30日時点で2,200人を超える方がサポーターとなっています。